

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 県産農産物イメージアップ事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 流通企画係 電話番号:058-272-8417

E-mail: c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 800 千円 (前年度予算額 : 900 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	900	0	0	0	0	0	0	0	900
要求額	800	0	0	0	0	0	0	0	800
決定額	800	0	0	0	0	0	0	0	800

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

3大都市圏(東京・大阪・名古屋等)の消費者、市場関係者等を対象に、新たにブランド化をすすめていく品目について販路拡大促進キャンペーン等を実施し、認知度向上や消費拡大、将来につながる新規市場の開拓等を図ることを目的とする。

(2) 事業内容

① 展示・販売

県産農産物の展示・販売等を行う。

② 広報活動

各種情報誌、新聞等を活用し、県産農産物のPRを行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 1/2 以内

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	800	販売促進活動経費、P R 活動経費
合計	800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

5-1-(3)-②大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化

○首都圏、関西圏及び中京圏における農畜水産物プロモーション

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	県産農産物イメージアップ事業費補助金
補助事業者（団体）	農畜産物生産者団体等 （理由） 大都市圏への出荷を目指す団体を支援するため
補助事業の概要	（目的） 農畜産物生産者団体等が主体となり、県産農畜産物の新品目・新ブランド品目等を中心に知名度向上・イメージアップを目的として販売促進を行う際に支援する。 （内容） 県産農産物の展示・販売、広報活動
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）1/2 以内 （理由）農業者の負担軽減を図るため応分の負担
補助効果	大都市圏の消費者、小売店、市場関係者等を対象とした販売促進を実施することで、ブランド化と消費拡大、新規開拓が図られる。
終期の設定	終期令和 7 年度 （理由）ぎふ農業・農村基本計画での位置づけ

（事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>【ブランド品目】 令和 7 年までに関西圏の飛騨牛の取扱店舗を 25 店舗増加</p> <p>【主要品目】 令和 7 年までほうれんそう、えだまめの大阪市場でのシェア 1 位を維持</p> <p>【新品目】 ほうれんそう、えだまめ等続く品目の育成</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26年度末)	目標 (R1年度末)	目標 (終期)
① ほうれんそう、えだまめの大阪市場でのシェア	1位	1位	1位
① 飛騨牛取扱店舗（関西圏）	5店舗 (R2)	10店舗	30店舗

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	642千円	900千円	532千円	(予算額) 900千円	(要求額) 800千円
指標①目標	1位	1位	1位	1位	1位
指標①実績	1位	1位	1位	(推計値) 1位	(推計値) 1位
指標①達成率	100%	100%	100%	(推計値) 100%	(推計値) 100%
指標②目標	-	-	-	-	10店舗
指標②実績	-	-	-	5店舗	10店舗
指標②達成率	-	-	-	-	(推計値) 100%

(前年度の成果)

<ul style="list-style-type: none"> ・ほうれんそう、えだまめの大阪市場でのシェア1位を維持。 ・着実に、岐阜県の農産物を消費者に知っていただくことができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 実施主体と協働し、情報共有や相互連携を深め、効果的にPRを図る必要がある。ほうれんそう、えだまめ、トマトに続く新品目の育成が必要である。
--

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い、△ : 必要性が低い	
(評価) ○	柿、飛騨牛、ほうれんそう及びえだまめ等は全国的にみても出荷額や市場評価が高く、所得向上の実現に繋がることが期待される品目としてぎふ農業・農村基本計画の目標にもあるとおり県の重点品目になっているため、強力に振興を図っていく必要がある。そして、上記品目に続く新品目の育成が急務となっている。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	ほうれんそう、えだまめは平成21年から令和元年まで、大阪市場でシェア1位をキープしており、これは地道なフェアや販売促進活動の成果といえる。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている、△ : 向上の余地がある	
(評価) ○	県産農畜産物に対し、県として目指すべき振興方向に沿ったPRをすることができている。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

<p>継続・削減・統合・廃止</p> <p>(理由)</p> <p>産地間競争が激しい中、安定的な売り場の確保のため継続的な量販店等での販売促進活動は必要であり、継続して支援する必要がある。</p> <p>ほうれんそう、えだまめ、トマト、富有柿に続く品目の育成が急務である。</p>
